

第 19 回美しい農村環境写真コンテスト作品評

特別審査員：田村民雄 氏（日本写真文化協会）

（撮影者：敬称略）

★ 最優秀賞（知事賞）

「未 来」

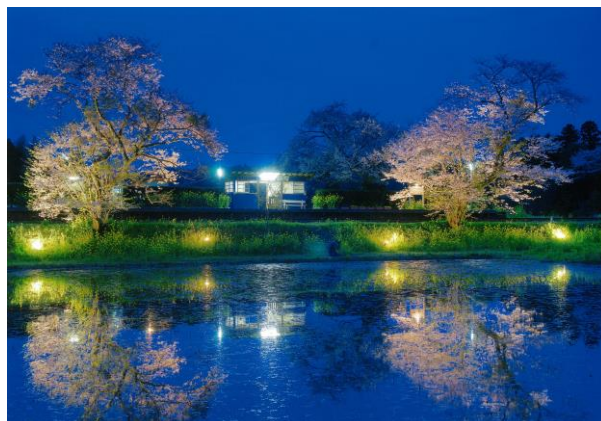


（撮影場所：東 金 市 撮影者：敦賀 和隆）

いいタイトルですね。おじいちゃんとお孫さんでしょうか。
おじいちゃんが孫に託した夢ですね。
この子がおじいちゃんの思い通りに将来農業に進むかどうかかわからない
ですが、おじいちゃんにとっては良い思い出となった事でしょう。
お孫さんの真剣な表情とおじいちゃんの優しい眼差しを真正面から巧みに
撮られた作品です。

★ 千葉県土連会長賞

「暗なずむ無人の駅」



（撮影場所：市原市 飯給駅 撮影者：金親 芳夫）

みごとにライトアップされた桜並木と無人駅が、薄明かりの残照の中に
一段と輝きを増している。絶好の撮影時間が紺碧の空色を作り出し、風
の湖面に映し出された桜並木と無人駅が、より一層印象的な作品に作り
あげている。タイトルが写真と合っていないので再考を！また、次回に
は電車を走らせてください。

★ 特 別 賞

【千葉県農村振興技術連盟賞】

「冬晴れの朝」



(撮影場所：富里市 撮影者：新田 幸雄)

富里の特産はスイカであるが、冬にスイカの宣伝となると違和感を覚えるが、町の広告塔となると納得する。それにしてもこの写真は、雪の日の早朝の空気感と、みごとに晴れ渡った空、雪原に差し込む光と影、たなびく霧、これ以上ない条件下で、見事なレンズワークによって、的確な構図の作品に仕上がっている。

【千葉県農地・水保全管理協議会賞】

「里の春」



(撮影場所：香取市 撮影者：石井 昌良)

今、里山が注目をあびている。放置農地が荒れ放題となり、地域の人々が里山への再生へと努力している。この写真は里山的雰囲気を感じます。山間の中の田んぼでの田植え、整備された畑には季節の花を植え、訪れる人を歓迎してくれている。この心温まる情景を構図よく作品にまとめている。

【ちば水土里支援パートナー賞】

「ロールづくり」



(撮影場所：旭市 琴田 撮影者：坂倉 徹)

20数年前、北海道で初めて出合ったロールに驚いたが、関東近辺、千葉でも作られていると聞いて成田の方に見に行った事がある。この写真はワイドレンズを巧みに使い、ロールと作業者の距離感を作り、斜光線によって立体感を演出している。靄にかすんだ遠方の表現も抜け目ない。

★ 金賞

「春が来た」



(撮影場所：白井市今井 撮影者：渡部 美智子)

ハイアングルでの撮影のため、二人の表情を見る事はできませんが、ほほえましさを感じる作品となっている。上に桜を配し、下に人物を配し、画面いっぱいに春を感じさせる無駄のない構図となっている。次回、同じようなチャンスに出合ったら、カゴの中に野菜が入っている状態で一枚撮って下さい。

★ 銀賞

「収穫」



(撮影場所：八街市 撮影者：金親 俊夫)

メロンの番をしている訳ではないでしょうが、なんとなくユーモラスな写真です。ただ主役はメロンですが、この写真は猫がいることによって成立っているのです。猫の位置とか、猫にしっかりとしたピントを合わせるとか、脇役にもしっかりと気を遣うようにしてください。

「舞鷺」



(撮影場所：長生郡長南町 撮影者：栗原 一行)

サギは非常に警戒心が強く、臆病な鳥です。よってサギの飛んでいる美しい写真はなかなかお目にかかる事はありませんが、この写真は完成度が高く撮られております。白く躍動感ある姿が、淡い早苗田をバックに一段と引き立っております。

★ 銅賞

「青空に映える」



(撮影場所：旭市 袋溜池 撮影者：小栗山 秀男)

青い空・白い雲・満開の桜に鯉のぼりの雄姿、これだけの条件が揃えば傑作ができない訳がないと思いますが、そこは感性次第。この写真は自信作と思われまます。確かに良くまとめた作品です。ただ惜しいのは、鯉のぼりの右下を全部入れてほしかった。

「大地の子」



(撮影場所：旭市 撮影者：嶋田 洋)

お手伝い、お遊び。普通ではめったにできない体験を、この子は幸せ者である。将来は農家のお嫁さんに・・・。無邪気な田んぼでの子供の表情をうまくとらえている。ハイアングルの撮影で遠景には田植えに精を出している人を配し、しっかりと画面にしている。プリントの色に気を遣ってほしい。

「早苗田に遊ぶカルガモ2家族」

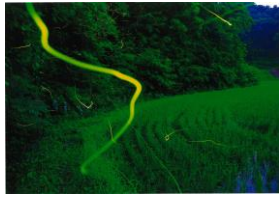
(撮影場所：茂原市 撮影者：君塚 彰)



子を想う気持ちは人間と一緒にですね。いや人間以上かもしれませんね。偶然にも鉢合わせしたカルガモ2家族。レース状の早苗田から顔を出した親ガモ。何かを警戒しているのか一緒にの方向を向いた一瞬をとらえた心温まるユーモラスな写真です。

★ 佳作

「ホタル舞う水田」



撮影場所：南房総市
撮影者：山口 正明

蛍を撮るには技術的に難しい点もありますが、良く撮れています。それにしてもちょっと淋しい数ですね。奥の方に多数見えますので、そこを狙えなかったのでしょうか。

「五月の水田」



撮影場所：香取市
橋ふれあい公園
撮影者：牧元 晴美

畔道を楽しそうに散歩する。それを見守っているような風になびく鯉のぼり。5月の代表的な写真に仕上がっています。人物を画面真ん中におさめるより、少し後方でシャッターを切った方が画面に動きががまます。

「朝の道」



撮影場所：八 街 市
撮影者：川嶋 亥良

霧にけむるコスモス街道を帰る二人の女学生を、タイミング良くシャッターを切った作品です。構図的には、二人がもう数メートル先に行った時の方が良いと思います。リュックが目立ちすぎます。

「田植のころ」



撮影場所：市原市 高滝駅付近
撮影者：吉野 章郎

田植えと、ローカル線の感じは良くできている作品ですが、電車と田植機が画面中央にまつまりすぎているため、遠近感が表現されなくなっています。田植機はもう少し手前で。

「のどかな田園」



撮影場所：佐 倉 市
撮影者：新田 幸雄

刈り入れ後の田んぼに、長くおとした影のコントラストが良く、自転車に乗った人を入れる事によって、画面に動感ができている。美しい作品に仕上がっている。

「こだわりの農業」



撮影場所：東 庄 町
撮影者：西宮 美知子

秋空の下での稲干し作業。青い空に流れるような白い雲。印象的な写真です。しかしこの写真の主役は農作業している2人である。2人が主役となるカメラアングル、構図を考えてください。

「霧氷つく」



撮影場所：佐 倉 市
撮影者：田村 雅彦

きれいに付いた霧氷ですね。遠方のポッチ群によって田園風景が良く表現されています。日の出直前だったら霧氷に輝きが出て、立体感ある写真になったと思います。

「汗の結晶！出荷前の調整」



撮影場所：八 街 市
撮影者：金親 芳夫

出荷前のチェックか。整然と並べられたスイカに差し込んだ光が、立体感を与えている。それをハイアングルから狙った撮影意図はさすがである。が、周囲を少し整理してほしかった。

「昆虫採集の親子」



撮影場所：鴨川市大山千枚田
撮影者：菅原 譲太郎

夏休みの一時、無心で昆虫を捕るお兄ちゃん、捕ったものを母親に見せている弟たちのほほえましい情景の写真です。画面が窮屈すぎるので、もう少し引いて田園の雰囲気表現した方が良かったですね。

「田植前の養老溪谷」



撮影場所：市原市養老溪谷
撮影者：吉野 恭子

機械化全盛の中にあつての手作業は、里山での作業でしょうか。ねらいが十分表現できない写真になってしまいました。空の部分をも大胆にトリミングする事により、作者の狙いは明確になるはずですが。

「春近し」



撮影場所：旭 市
撮影者：西宮 明

早春の一コマ。紅梅と茅葺き屋根から立ち上る湯気が早春の暖かさを感じさせる作品です。せっかく日だまりまでフレーミングしてあるのでポイントとなる物がほしかったですね。

「耕地の朝」



撮影場所：いすみ市作田
撮影者：波多野 保

黄金色に輝いている大地。農地の見回りか、散歩か、それとも朝帰りか。人を入れる事によって完成度を上げています。下の黒い部分をいくらかトリミングすると力強い作品になります。